

住友化学の気候変動対応の取組み

2019年2月12日
住友化学株式会社
RC部 河本光明



住友の事業精神



住友政友像

じりりた こうしいちによ
自利利他 公私一如

**事業は自ら利益を得るものであるとともに、
社会に対しても利益あるものでなければならない。**

住友化学の気候変動対応への取り組み

TCFDへの対応(情報開示)

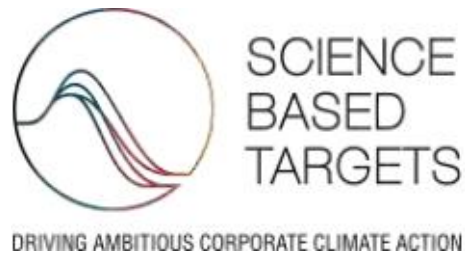


2018年8月～: 経産省 グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方に関する「TCFD研究会」に参画

日本企業の強みが評価されるような開示の在り方を検討

リスクと機会への対応(アクション)

リスク管理



2018年10月
総合化学企業で初認定

燃料転換

技術開発

機会の拡大(事業を通じた貢献)

環境配慮型製品の販売

Sumika Sustainable Solutions
対象製品売上高の拡大

製品ライフサイクル全体での排出量削減

自社排出量削減 + 環境配慮型製品による貢献



Task Force on Climate-related Financial Disclosures

金融安定理事会が設置したTCFD提言のポイント

- 企業の**気候変動関連のリスクと機会に関する情報開示**をさらに進めるべき
- この際、気候変動対応に関する**ガバナンス、シナリオ分析、中長期的対応戦略等に関する情報**を広く開示すべき

“Climate change is one of the most important challenges that our society is facing. Sumitomo Chemical as a global company is committed to actively provide solutions for climate change mitigation and adaptation. We believe the better disclosure of information on climate-related risks and opportunities will further encourage our initiatives towards a sustainable world.”

Masakazu Tokura, Chief Executive Officer, Sumitomo Chemical Company, Limited



TCFDのWebサイト (<https://www.fsb-tcfid.org/>) より

※2017年6月29日公表

2°C目標の実現には多くのリスクと機会が伴う

2°C目標実現の場合の2050年の経済成長押し上げ効果

G20平均、ベースラインに対するGDP差、%



(OECD 「気候への投資、成長への投資」報告書より (2°C未満達成確率66%の場合))

TCFD対応のための情報開示内容の例

<Governance>

- 気候変動対応に関するガバナンスの確立
⇒ 取締役会レベルの管理体制 等

<Strategy>

- 気候変動によるリスク及び機会(チャンス)の分析
- 気候変動対応の「シナリオ分析」と組織のレジリエンス分析

<Risk management>

- 関連リスクを評価、管理する社内プロセス
- カーボンプライシングへの対応(社内カーボンプライシングの活用等)
- 取引先に対するGHG排出削減の働きかけ 等

<Metrics and targets>

- SBT等の目標設定とその達成に向けたPDCA管理体制の構築
⇒ できるところから開示をはじめることが重要！
(同時にCDPに対する回答への対応にもなる)

住友化学の気候変動対応への取り組み

TCFDへの対応(情報開示)



2018年8月～: 経産省 グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方に関する「TCFD研究会」に参画

日本企業の強みが評価されるような開示の在り方を検討

リスクと機会への対応(アクション)

リスク管理



2018年10月
総合化学企業で初認定

燃料転換

技術開発

機会の拡大(事業を通じた貢献)

環境配慮型製品の販売

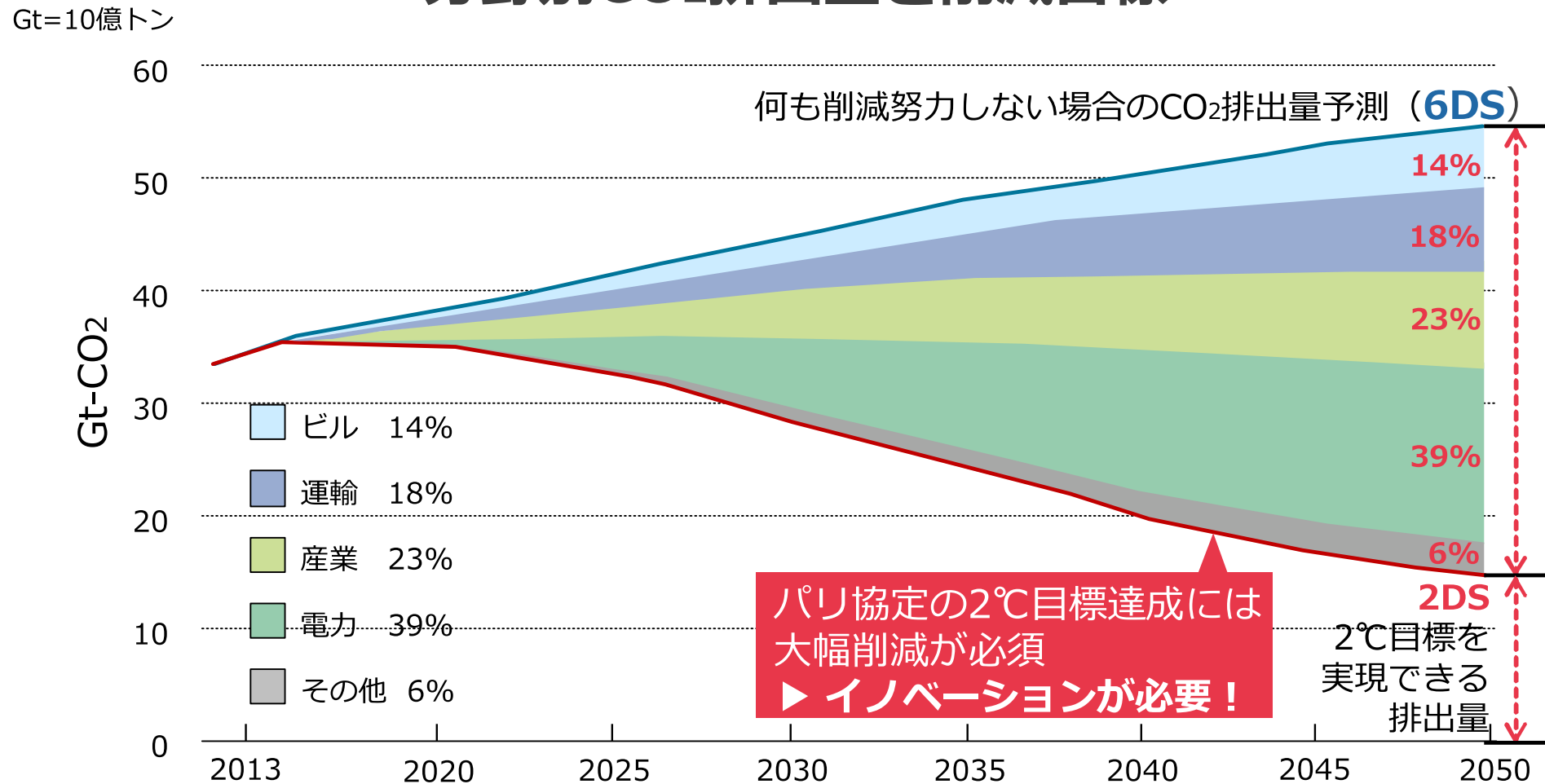
Sumika Sustainable Solutions
対象製品売上高の拡大

製品ライフサイクル全体での排出量削減

自社排出量削減 + 環境配慮型製品による貢献

2℃目標達成は成長しながら削減が前提

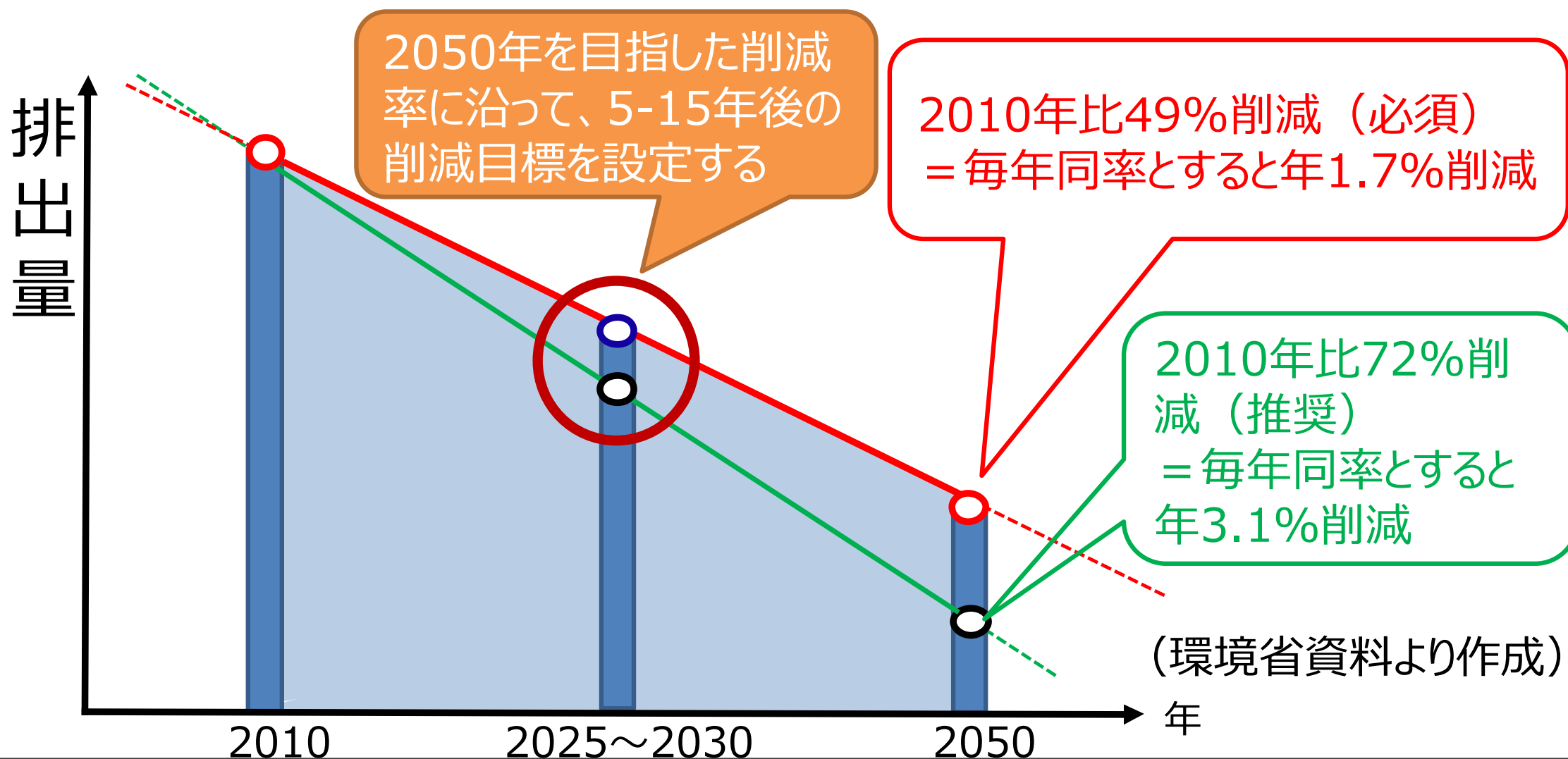
IEA※の2050年にむけたCO₂排出削減シナリオ (IEA-ETP2015) 分野別CO₂排出量と削減目標



(出所) IEAの2℃目標達成シナリオ長期モデルを基に作成

※IEA:国際エネルギー機関

SBTとは：「パリ協定の2℃目標」の達成に貢献するため、企業が気候科学の知見に基づいて設定した高水準のGHG排出削減目標



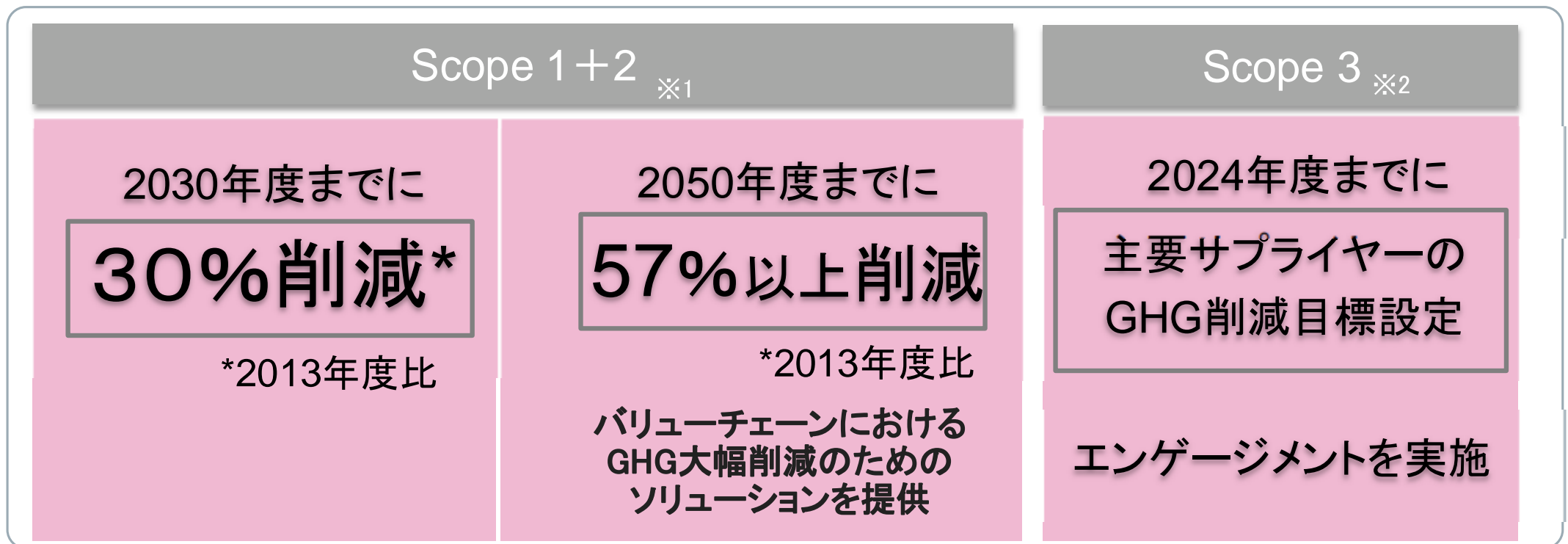
住友化学グループのSBT目標 （旗を立て 努力し 情報を開示）

GHG削減目標がSBTイニシアチブの認定を取得(18年10月)



宣言企業 519社

認定企業 168社 うち日本35社 (19年2月4日時点)



※1 Scope1: 製造プロセスにおける燃料使用など、工場からの直接排出

Scope2: 工場外からの電力・熱の購入などによる間接的な排出

※2 Scope3: 購入する原料の製造段階、輸送段階などでの排出

※3 購入原料などの重量ベースで90%を占めるサプライヤーが対象

住友化学の気候変動対応への取り組み

TCFDへの対応(情報開示)



2018年8月～: 経産省 グリーンファイナンスと企業の情報開示の在り方に関する「TCFD研究会」に参画

日本企業の強みが評価されるような開示の在り方を検討

リスクと機会への対応(アクション)

リスク管理



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2018年10月
総合化学企業で初認定

燃料転換

技術開発

機会の拡大(事業を通じた貢献)

環境配慮型製品の販売

Sumika Sustainable Solutions
対象製品売上高の拡大

製品ライフサイクル全体での排出量削減

自社排出量削減 + 環境配慮型製品による貢献

Sumika Sustainable Solutions

サステナブルな未来をつくる、住化の製品と技術



S 事業を通じて (Solutions)

Sumika Sustainable Solutions (SSS) スミカ・サステナブル・ソリューション

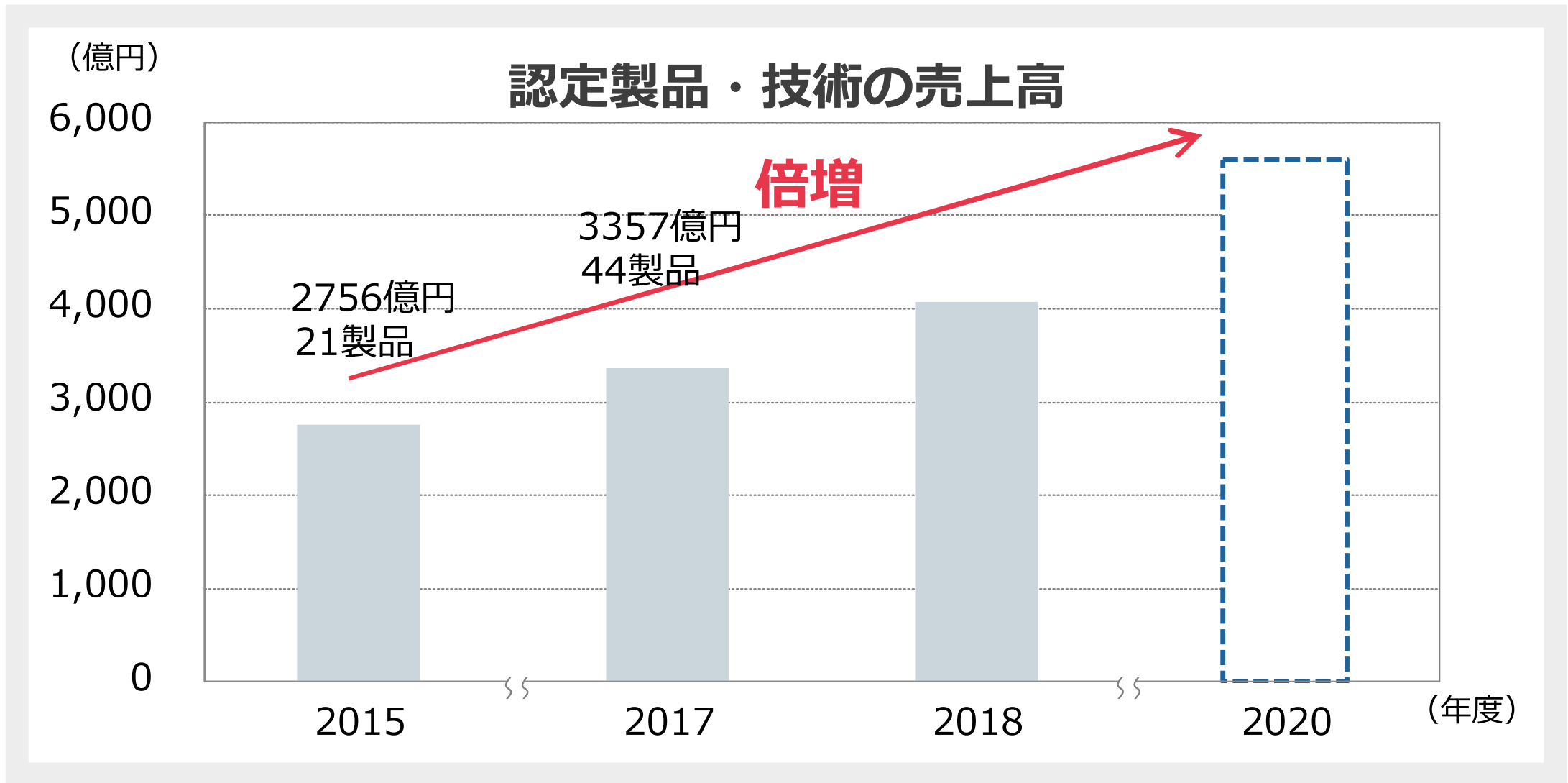
住友化学グループは、**GHG削減対策をはじめSDGsに貢献する製品・技術を“Sumika Sustainable Solutions”として認定**をしています。

それらの開発・普及を促進することにより、持続可能な社会を構築するためのソリューションを提供し、SDGsの達成に貢献したいと考えています。



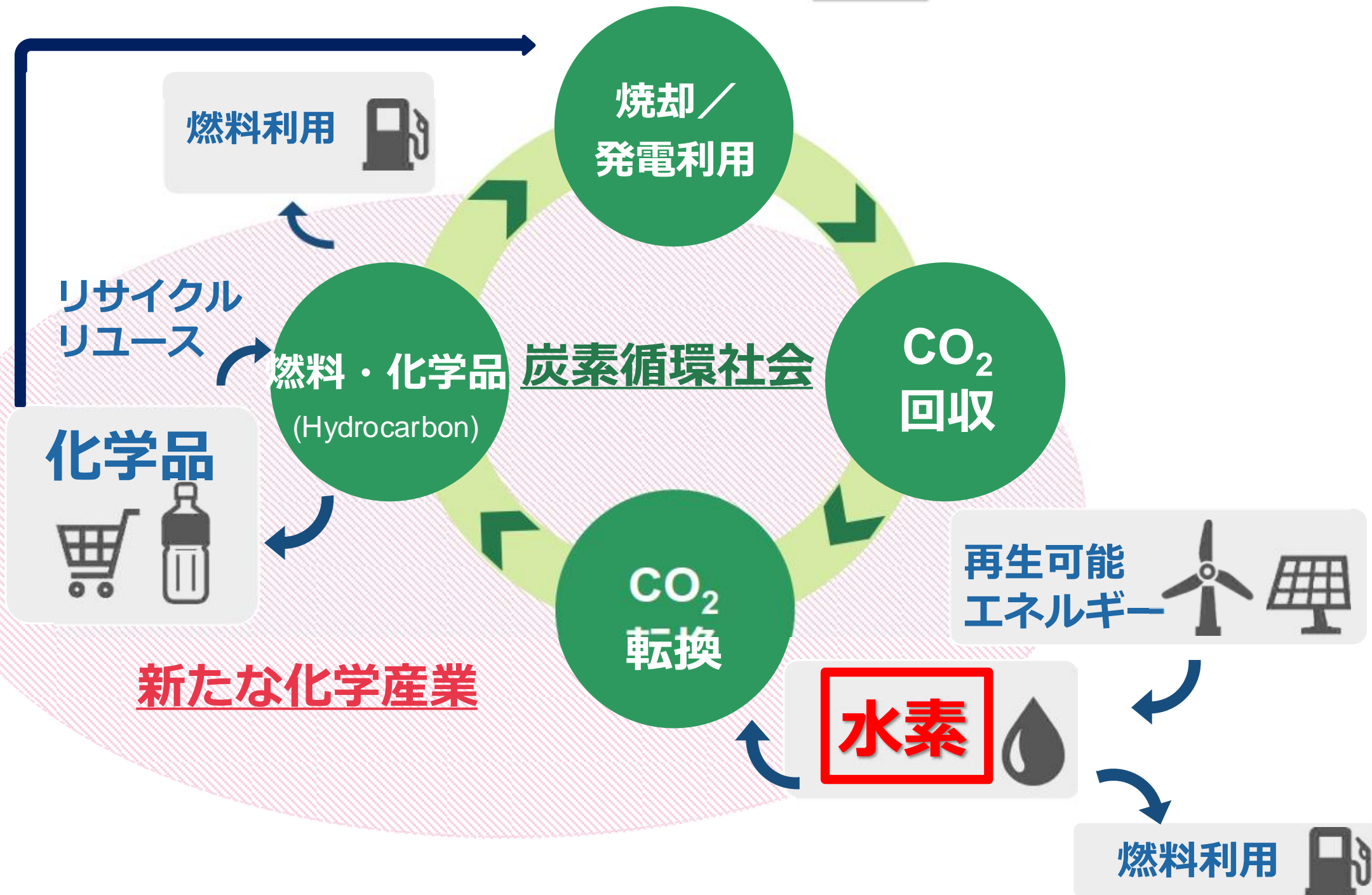
S 事業を通じて (Solutions)

売上規模を早期に倍増目標

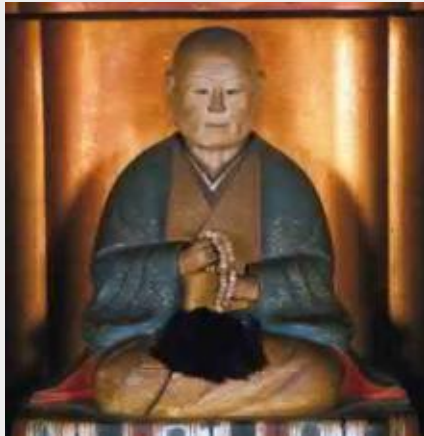


今後の重要なイノベーションの例：

炭素循環社会実現には水素が鍵になる



気候変動対応に住友事業精神をもって挑戦する



住友政友像（提供：住友史料館）

住友の原点

自利利他
公私一如

社会課題の解決

環境

食糧

資源
エネルギー

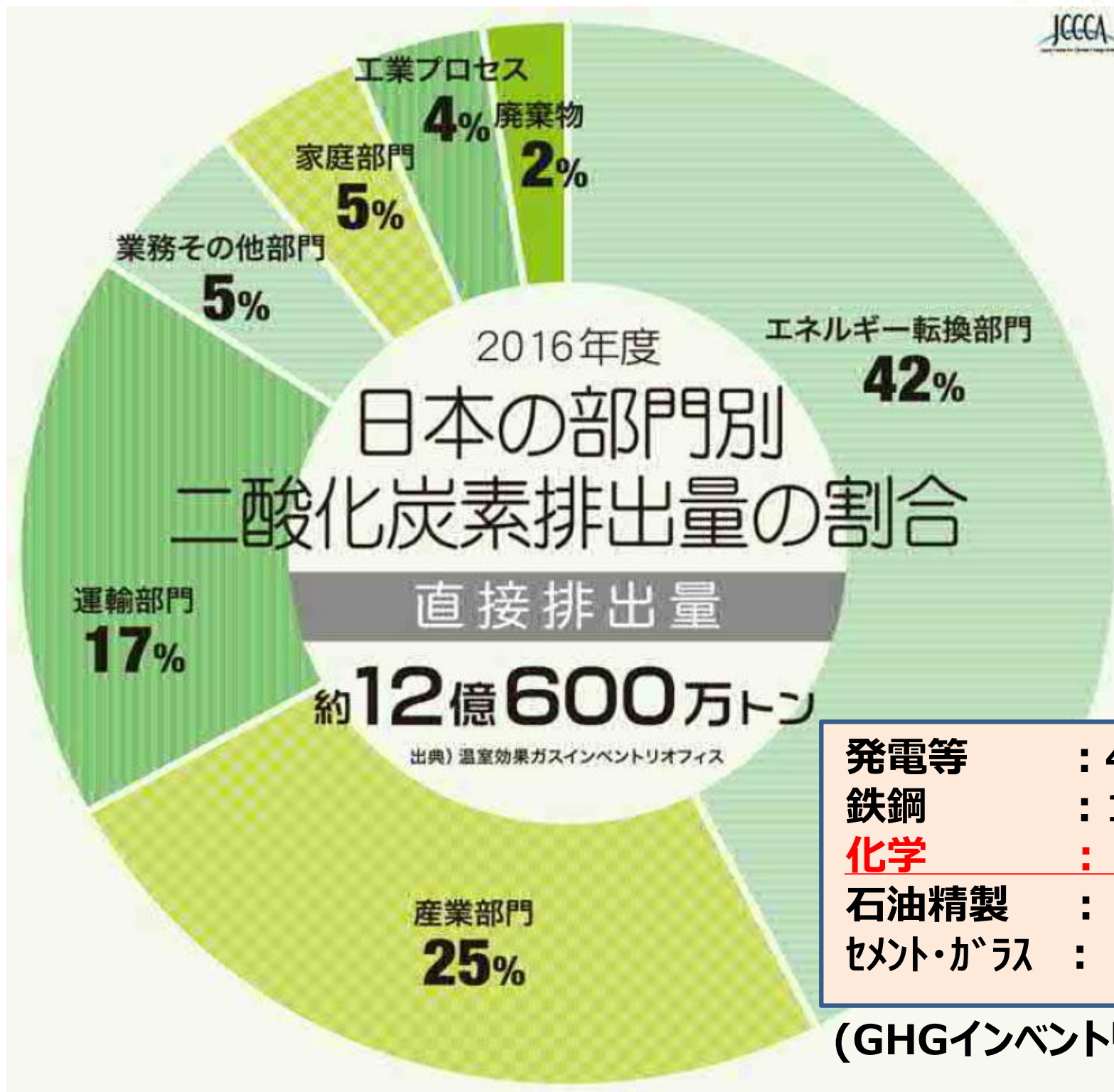


持続可能な社会の実現

住友事業精神を未来へ

ご清聴ありがとうございました！

参考：日本のCO2排出の状況(SCOPE1)



発電等	: 474百万トン
鉄鋼	: 143百万トン
化学	: 43百万トン
石油精製	: 37百万トン
セメント・ガラス	: 27百万トン

(GHGインベントリ報告書より)